

# まちの話題



## SDGs推進と 安心安全な生活をサポート

11月7日、直方市と三井住友海上火災保険株式会社は、SDGs達成に向けた地域課題に対応し、市民サービスのより一層の向上を図ることを目的とした包括連携協定を締結しました。

同社の自社経営サポートセンターを活用した企業向けセミナーの開催や、脱炭素の推進により効率的なEV化検討支援など、持続可能な社会づくりに関連して取り組んでいきます。

また、県内初の取り組みとして、水害時の同社の損害調査情報を共有する「被災者生活再建支援サポート」を導入しました。これは水害で家屋が被災した際の際の同社の損害調査情報を契約者同意のもと市と情報共有すること



で証明書等の発行をスムーズに行うことが取り組みとして、早期の生活再建につな

がることを期待されます。同社北九州支店の今井支店長は「地域の安心と安全に向けて、地域課題の解決につなげたい」と話しました。

## もち吉前社長へ功労賞

11月14日、株式会社もち吉創業者の故森田長吉さんの功績を称え、市政功労賞が授与され、森田さんの次女で現取締役社長の森田恵子さんへ表彰状が贈られました。



森田さんは、もち吉直売店を全国に228店舗(6月末現在)展開し、日本を代表する企業に成長させました。創業以来、継続して本社を市内におき、市の経済発展に大きく寄与しました。地元への貢献も大きく、直方チューリップフェアのおがた花火大会へも長年にわたり積極的に出資していただきました。

市長は「直方を全国的に広めていただき、地域にも多大な貢献を

していただいた」とその功績に感謝しました。

恵子さんは、父は直方を愛し、直方のために生きた。その思いを引き継いでいきたいと話しました。

## カイゼン大作戦!! 子どもたちのアイデア光る

11月14日、直方第二中学校で「次世代夢プロジェクト2022」の表彰式が開催され、市長賞を受賞した今澤昊汰(いまさわ くれは)さんらに表彰状が贈られました。

本プロジェクトは、直鞍地域の小中学生にモノづくりへの関心や親しみを持ってもらうために、直鞍次世代産業研究会と直鞍産業振興センターが開催



ターが開催しています。今年は、みんなの便利になること、もったいないこと、困っていることを改善するアイデアを募集し、19校か

ら247作品の応募があり、8つのアイデアが直方市長賞や次世代産業研究会会長賞などに輝きました。

市長賞を受賞した今澤さんのアイデアは、信号機の押しボタンを足で踏めるようにするというもの。これはスーパードで買い物をした時など荷物を持っているときに、ボタンが押しにくいと感じた経験から発案したそうです。今澤さんは「受賞してとても嬉しい。実現したらみんなの役に立つと思う」と話しました。

直方第二中学校からは他にも4名が直方商工会議所会頭賞、トヨタ自動車九州賞、奨励賞を受賞しました。

## 筑豊高校陸上部 女子フィールド団体が優勝

11月15日、筑豊高校陸上部の日影沙羅さんと工藤実幸乃さんが、「第40回全九州高等学校新人陸上競技大会」で女子フィールド団体の優勝し





市のホームページでは、  
この他の話題も公開しています。



たことを報告に、市長を表敬訪問  
しました。

女子ハンマー投では日影さん  
が45m05の自己新で優勝、工藤さん  
も44m85の自己新で2位と、同  
校が上位独占のワンツーフィニッ  
シュ。さらに砲丸投げにも出場し  
た工藤さんが11m81の自己新で  
3位という好成績を収めました。

2人の次の目標は、来年の夏の  
インターハイ出場。日影さんは  
「優勝」、工藤さんは「円盤投げを  
含む3種目で入賞」を目指しま  
す。

市長は皆さんの活躍が地域の  
人の励みにもなる。周りの人の支  
えに感謝し、頑張つてほしい」と  
エールを送りました。

## 2022年ふるさとの 川や海絵画展



11月  
26・27日、  
「ふるさと  
の川や海  
絵画展」  
がイオン  
モール直  
方のイオ  
ンホール

で行われました。この絵画展は、  
直轄地域の小学生がふるさとの  
自然や環境を思い描いたもので、  
695枚の応募がありました。ど  
の作品も楽しくきれいに描かれ  
ていて、会場は来場したご家族連  
れのみなさんでにぎわいました。

## 名越大磨さん 障がい者スポーツ 大会で銅メダル

11月29日、第22回全国障害者  
スポーツ大会に出場した名越  
大磨さん(28)が、結果の報告に訪  
れました。

視覚に障がいがある名越さん  
は、ジャベリックスローと砲丸投  
げに、その他の視覚障害区分で出  
場し、ジャベリックスローで34m82  
で見事銅メダルに輝きました。

ジャベリックスローとは、長さ  
70cm、重さ300gのターボジャ  
ムという投てき物を投げて距離  
を競う競技です。競技歴は約10  
年で、普段は広場や河川敷で練習  
をしています。投げては取りに  
行って、投げては取りに行って、を  
繰り返す練習中、散歩中の方が  
声をかけてくれたり、時には一緒  
に投げてみたりと、地域の方との

交流があり、大会後は「どうだっ  
た？」と声をかけてもらうことも  
多かったといいます。

今回初めて砲丸投げでも出場  
したとの報告に、市長は「いろい  
ろなスポーツにチャレンジして、  
希望の星に  
なつてほし  
い」と話し  
ました。



## 夢実現のために オリンピックによる トークショー

12月1日、東京オリンピック  
2020女子ソフトボール金メ  
ダリストによる、オリンピック  
トークショーが開催されました。

市内中学3年生と直方高校ス  
ポーツ科学コースの1・2年生を  
対象とし、生徒一人ひとりの夢の  
実現に向けて、女子ソフトボール  
元日本代表監督の宇津木妙子さ  
ん、東京オリンピック金メダリス  
トの峰幸代さん、渥美万奈さん、  
山本優さんの4名に、将来社会に



出て大切な  
ことを語つて  
いただきま  
した。宇津木  
さんからは  
「将来社会に  
出た時には、  
つらく厳しい  
こともある。

自分の中で「これだけは誰にも負  
けない」というものを作つてほし  
い」と、生徒たちへエールが送られ  
ました。

その後行われたソフトボール  
教室では、中学生・高校生の野球  
部員たち34人が、九州唯一のソフ  
トボールチーム「タカギ北九州  
ウオーターウェーブ」の皆さんと  
体を動かし、宇津木さんのノック  
指導に、生徒たちは大声をあげな  
がら球を追いかけていました。

この貴重な経験が、今後子ども  
たちが自  
分の夢を  
掴むため  
のきつか  
けになる  
ことを願  
います。

